

大学の放置二輪車リサイクル

バイク買い取り業のバイクオフコーポレーション（いわき市）が昨年からは大学で始めた「放置二輪車リサイクル」ビジネスが、着実に需要を上げている。キャンパス内の放置自転車を無料で撤去し、リサイクルして学生に安く販売する仕組みに、大学側が魅力を感じているようだ。

同社は昨年と今年、東北大との間で、撤去の「業務委託に関する覚書」を結んだ。今年は、一月に仙台市青葉区の川内北キヤンパスで放置されたバイク二十八台と自転車三百五十九台を回収。前もって撤去を告知し、盗難照会も済ませた。

無料で撤去 安値販売

回収後は使用可能な部品を組み合わせ、リサイクル自転車百台を製作。今月上旬に同大で学生対象の即売会を催し、一台三千円で売り出したところ、完売した。バイクはリサイクルできる車両がなかった。

今年は岩手大でも回収、販売を行うほか、茨城大や千葉大からも照会がある。同社は「大学は卒業生が残した二輪車の処分に困っている」と、手応えを感じている。

東北大生から「今後も続けてほしい」との要望が寄せられており、学生の評判も上々だ。

ただ、回収に手間がかかる上、長期間、雨ざら

いわきの業者 東北大生に好評



東北大でのリサイクル自転車即売会には大勢の学生が集まった

しになった二輪車は使えたいが、今は循環型社会の部品が少なく、現在には貢献することで企業イ採算ベースに届いていない。同社の枝村圭一郎常務は「将来は利益を出し、同社の枝村圭一郎常主眼」と話している。